

学校便り 12月号

令和7年12月1日発行

和歌山市立岡崎小学校

学 校 長

もう12月。早いもので、令和7年があと一か月で終わります。子どもたちは今年のまとめをするために頑張っています。さて、11月26日に、和歌山市の先生方に道德の授業を見ていただきました。授業は、1年2組、4年2組、5年1組の3クラスで行いました。（教材の内容を紹介します。）

1年生「かずやくんのなみだ」

昼休み、主人公の僕は友達とおにごっこをしていた。おにごっこを見ていたかずやくんは、「ぼくも入れて。」と言ったが、さとしくんは「だめだよ。かずやくんは、足が遅いからすぐにつかまっておもしろくないもん。」と言った。かずやくんの目から涙があふれてきた様子を見て、僕は「かずやくんも入れてあげようよ。」と言った。すると、さとしくんは、「よし、じゃあ、かずやくん、がんばってにげてね。」と言い、かずやくんもおにごっこをした。僕は、みんなでした今日のおにごっこは、今までの中で一番楽しいと思った。

4年生「つくればいいでしょ」

4年生になって初めての学級活動で、先生から「…今年はみんなに、自分の長所や短所について考えてもらいたいと思います。友達の意見を聞いたり、おうちの人と話したりしながら自分さがしをして、しっかりと自分らしさについて気づいてほしいですね。」と言われた。私は、短所は見つかるが、なかなか長所は見つからなかった。おかあさんは「見つからなければ、つくればいいでしょ。」と笑った。自分には長所がないと悩んでいる時、足の速い愛子さんに一緒に長距離の練習をしようと誘われた。迷ったが一緒に練習することにした。練習を始めたころは何度もやめたいと思ったが、3か月たった今では陸上の長距離に向いてるも知れないと、長所が見つかった気がするようになった。そして、私は、お母さんが「見つからなければ、つくればいいでしょ。」と言った意味がわかってきたように思った。

5年生「折れたタワー」

給食の時間、ひろしはマスクを忘れた。その様子を見て、のりおが「わすれたのか。ひろしはほんと、牛乳を運ぶ係じゃないか。あんな重い物、一人じゃ運べないよ。どうしてくれるんだ。」と、どなるように言った。「…ごめん」と、小さな声で謝ったが、のりおは許してくれそうになかった。同じ班のまさるが「のりお、そう言うなよ。だれだってわすれ物をするにはあるじゃないか。ぼくがひろしの代わりに 2 回運ぶから、それでいいだろ。」と、言ってくれた。数日後の掃除の時間。のりおがひろしの作品を壊してしまった。その作品は、細い木を接着剤でくっつけながら何本も何本も組み合わせ、何時間もかけて作ったタワーだった。ひろしは、数日前の給食のマスクの時の悔しい思いを思い出したが、「…ごめん。」と謝るのりおを見て、「わざと落としたんじゃないだろ。しかたないさ。」と言って掃除の続きを始めた。

授業では、初めは緊張していた子どもたちですが、友達の意見を聞いたり、授業の振り返りを書いたり、真剣に頑張っていました。研究授業クラス以外のクラスでも、同じ道德の授業は行っています。また、道德は、週1回度どのクラスも授業を実施しています。授業を頑張っていることを大いに褒めていただきますとともに、道德の授業について、ご家庭でも話していただけると、子どもたちの考えがより深まると思います。食事の時等、楽しい団らんの時にでも、楽しみながら子どもたちと話してみるのはいかがでしょうか。